

～建物の所有者・管理者の方へ～

自動火災報知設備の誤作動について

市内の事業所において、自動火災報知設備の誤作動が数件発生しています。

例年、梅雨時期や豪雨等の影響による誤作動が増える傾向がありますので、次の内容を参考に設備の点検を行ってください。

自動火災報知設備とは・・・

「感知器」が火災の熱や煙をいち早く捉え、各階、各部屋に設置されたベルを鳴動させることにより建物内にいる人に火災を知らせたり、避難を呼び掛ける設備です。また、火災を発見した人が、近くの「発信機」のボタンを押すことで、建物全体に警報を発することができます。



感知器等の誤作動について・・・

自動火災報知設備は、火災以外の要因によって誤作動を起こすことがあります。また、電気回路が不具合（故障）を起こしたり、いたずら等で故意に発信機が押される可能性も否定できません。定期的な点検を実施するとともに、次の事例を参考にして、日頃から誤作動が発生しないように注意しましょう。



誤作動の主な原因

- ①雨や水配管等から伝わった水滴が感知器内部に浸水する。
- ②台風等で急激な外気圧の低下が起きる。
- ③調理、喫煙等で発生する煙のほか、煙に類似している湯気、次亜塩素酸の噴霧器散布、ホコリ、虫等が感知器内に入る。

自動火災報知設備の誤作動が頻繁に起きると、警報ベルが鳴っても誰も火災だとは思わず、次第に無関心になってしまいます。この状態で、本当に火災が発生した場合に、初期消火、通報、避難の行動が遅れ、建物内の人が命を落とすことにもなり兼ねません。このような事態を防ぐには、自動火災報知設備が誤作動を起こす要因を排除する必要があります。また、警報ベル等が鳴ったら、他人任せにせず、一人一人が対応できる体制を整えましょう。



～お願い～

自動火災報知設備の誤報・誤作動が発生した場合

- ※自動火災報知設備の点検を実施して、原因を特定し適正な維持管理を行ってください。
- ※自動火災報知設備の感知器の取り外しなどにより、機能停止している場合は関係者に伝え、早急に改修してください。

【問合せ先】 別府市消防本部予防課
TEL 25-1125